

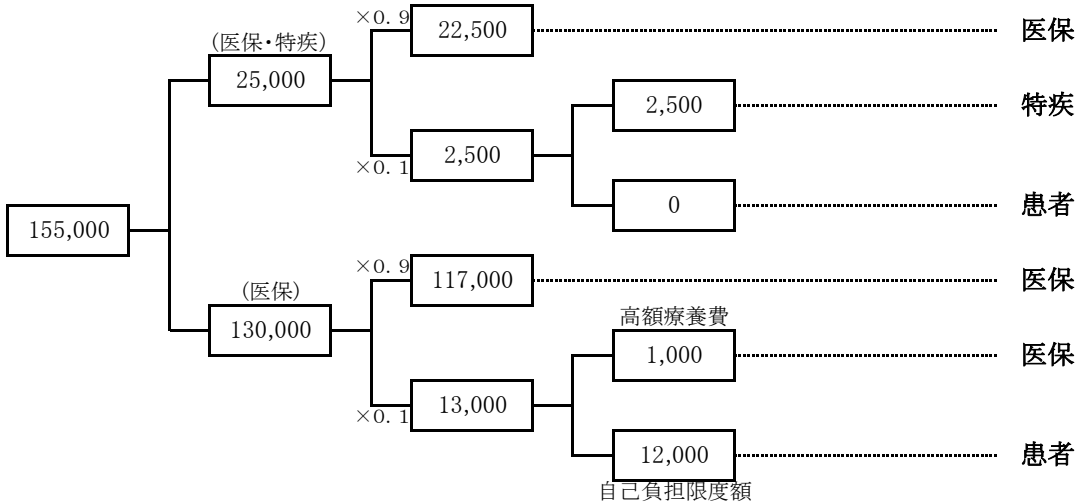
事例37 後期高齢者 入院外(一般所得)・公費(特定疾患)

後期

訪問看護療養費明細書										6 訪問	3 後期	3 3 併	8 高齢一				
—									—	保険者番号	3	9					
公費負担者番号①	5	1							公費負担医療の支給者番号①								
公費負担者番号②	8	0							公費負担医療の支給者番号②								
氏名									特記	←51公費の適用所得区分を記載する							
職務上の事由									18 一般								
請求	円	※	決定	円	負担金額	円	※高額療養費		円								
保険	155,000				(2,500)												
合計					14,500												
公費①	25,000				空欄		※公費負担金額 円		備考								
公費②	155,000				12,000		※公費負担金額 円										

※ 医保単独分で高額療養費が発生する場合

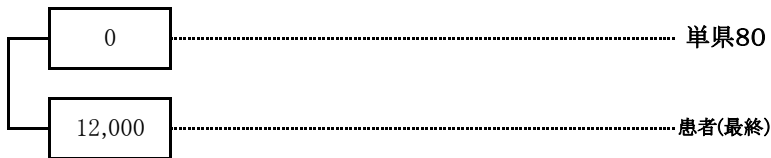
〔療養の給付〕 →高額療養費が発生しているので、「保険」の「負担金額」欄に支払を受けた一部負担金額(本来患者が負担すべき高齢受給者としての1割負担)を記載



合計	
医保	140,500 円
(高額再掲	1,000 円)
特定疾患	2,500 円
患者	12,000 円
単県80	0 円
患者(最終)	12,000 円

〈保険〉後期高齢者医療被保険者証 定率1割  
 〈公費①〉特定疾患(所得区分:一般) 月額自己負担限度額=0円  
 〈公費②〉単県80 定率1割 一般(一部負担上限額 12,000円)

高額療養費  
 (130,000円×0.1) - 12,000円=1,000円



→単県80の上限額が12,000円(一般)の為、単県80の給付なし(ただし、単県80の受給者証の提示があった場合、レセプトに記載)